

米田貴虎(よねだたかとら)プロフィール

- 相続手続支援センター 西日本本部
株式会社ブレイントラスト 代表取締役
相続専任相談員



京都府出身。神戸市在住。
神戸学院大学法学部在学中に、阪神淡路大震災を経験した際、「生き残った人間には全力を尽くして生きる責任がある。そうしなければ、亡くなった人に申し訳ない」という想いを強く持ちながら卒業。
その後、コンサルティング会社、司法書士・土地家屋調査士事務所等を経て平成13年より、相続手続きをサポートする業務に特化した「相続手続支援センター」を設立し、事務局である株式会社ブレイントラストの代表に就任する。
会社設立後わずか1年で地域NO1の相談件数を誇る会社となる。

その後、神田昌典氏を通じて半田貢氏と出会い、現在全国の大手会計事務所を中心に北海道から九州まで44支部を設置し、2万3084件の相続に関わる相談事例に携わり(平成22年6月1日現在)、あらゆる体験に基づいた豊富な相続に関するノウハウを提供している。

同センターの社会的使命を「相続に関する手続をスムーズに行い、経済的な不利益及び心理的ストレス、そして争う相続を最小限にすることによって、家族のさらなる繁栄をサポートすること」と定義づけている。

また、地域に密着した幅広い相続の相談を受け、90種類以上にわたる様々な手続をサポートしている。

そのため、依頼者は、不動産オーナー・一部上場企業役員・開業医・勤務医・国家公務員・中小企業社長・個人事業主からサラリーマン・年金生活者まで幅広く、その多くから「話を聞いてもらえるだけで安心できた」と好評を得ており、読売新聞のマネー相談室の回答者としても活躍している。

また、一般社団法人日本定年力検定協会の副代表理事にも就任し、定年を迎える方が、豊かで充実した生活を送るために最低限必要な経済的な基礎知識を問う検定試験を行い、合格者に対しては定年力アドバイザー養成講座を実施し、生涯学習の先生となる機会を提供している。

社団法人、上場企業、官公庁、小学校、大学、金融機関、介護施設、ハウスメーカー、保険会社等での講演実績も多数。読売新聞、神戸新聞、産経新聞、関西テレビ、サンテレビ、KBS京都、週刊東洋経済などの主要なテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などでも出演や取材、執筆を行なっている。

主な著書に、「相続の手続をスムーズに進める6つの方法」「エンディングノート～わたしの歩いた道～」「知ってトクする！介護のお金」など。